

生徒指導栄養

～ 生徒指導を進めるための栄養源に ～



#34 【ジェンダーの視点から考える学校生活】

令和6年12月、広島県総務局広報課と環境県民局わたらしい生き方応援課が、「『ジェンダー』の視点から考える表現のガイドライン～広報物等の作成にあたって～」を作成しました。



下の図のように、無意識に使っている言葉や表現が、性別による思い込みを反映したものにならないよう、注意点等が示されており、最後のページには、チェックリストも掲載されています。このように、ジェンダー平等の視点に立った取組が進んでいます。



学校においても、男女混合名簿の導入や児童生徒に対して「さん」を付けて名前を呼ぶ運用を開始してから1年が経とうとしています。卒業式等での座り方についても、これまでは、男子は手をひざの上でグーにする、女子は手をひざの上で重ねるといった指導をしてきたことと思いますが、男子は女子はということではなく、手の置き方を選択させるといった対応等も考えることになるでしょう。

このガイドラインも参考にしながら、学校におけるジェンダー平等社会の実現に向けて考えてみましょう。



令和7年1月29日（水）

呉市教育委員会 学校安全課 生徒指導グループ

